

第3回 建物・構築物検討会 議事録

1. 開催日時：平成15年 8月5日(火) 14:00～17:00
2. 開催場所：日本電気協会 4階 C・D会議室
3. 出席者：(順不同，敬称略)
 - 委員：久保主査(名古屋工業大学)，北山副主査(東京都立大学)，齋藤幹事(東京電力)，小笹(北陸電力)，細川(四国電力)，伏見(日本原子力発電)，須原(清水建設)，森山(大成建設)，朝倉(日立)，福西(三菱)，北田(NUPEC) (計12名)
 - 代理出席：尾形(東北電力・石原代理)，島本(中部電力・尾之内代理)，尾崎(関西電力・村上代理)，北島(九州電力・上妻代理)，武井(電源開発・野口代理)，原(鹿島建設・福島代理)，大須賀(大林組・清水代理)，神地(竹中工務店・石崎代理)，星野(東芝・中島代理) (計9名)
 - 常時参加者：土井(新潟大学) (計1名)
 - 欠席者：斎藤(北海道電力)，野田(東京電力)，三代(中国電力) (計3名)
 - オブザーバ：中山(関西電力)，室田・北村(日本原電)，松尾(鹿島)，西山(大成)，前田(日立)，高山(三菱)，鶴林・本橋(東電設計)，安部(前田建設工業) (計10名)
 - 事務局：福原・肥後(日本電気協会) (計2名)
4. 配布資料
 - 資料 No.3-1 第2回建物・構築物検討会議事録(案)
 - 資料 No.3-2 第6回耐震設計分科会 議事録(案)
 - 資料 No.3-3 鋼板コンクリート構造耐震設計技術指針(仮称)(案)指針の概要
 - 資料 No.3-4 鋼板コンクリート構造耐震設計技術指針(仮称)(案)
 - 資料 No.3-5 建物・構築物検討会 委員名簿(案)
 - 資料 No.3-6 原子力規格委員会 規約及び運営規約 細則の改定について(案)
 - 資料 No.3-7 原子力規格委員会の審議のあり方について(案)
 - 資料 No.3-8 表彰規約について(案)
 - 資料 No.3-9 鋼板コンクリート構造耐震設計技術指針(仮称)(案)第2回建物・構築物検討会コメント及び対応方針(案)
 - 資料 No.3-10 鋼板コンクリート構造耐震設計技術指針(仮称)(案)第6回耐震設計分科会コメント及び対応方針(案)

5. 議事

(1) 前回議事録(案)の確認

資料 No.3-1 に基づき、事務局より前回議事録(案)の紹介があり、原案どおり承認された。

(2) 耐震設計分科会議事録(案)の紹介

資料 No.3-2 に基づき、事務局より第6回耐震設計分科会での審議状況が紹介された。

(3) 鋼板コンクリート構造耐震設計技術指針(仮称)(案)について

資料 No.3-3,4,9,10 に基づき、尾崎氏・中山氏(関西電力),北村氏(日本原電),高山氏(三菱)より、前回の検討会および第6回耐震設計分科会におけるコメント対応方針について説明が行われた。審議の結果、以下の点については再度検討することになった。

資料 No.3-9 コメント について異種構造混合構造の場合の D_s 値は、参考資料にその取扱について記述しておいた方がよいのではないか。 D_s 値を大きい方にすると決めると、SC構造の特性が活かせずもったいない。どのように扱うか検討のこと。

資料 No.3-9 コメント および資料 No.3-10 コメント については、建物と機器のインタラクション部となるサポート定着部の評価において、設計フロー図上で建物側と機器側のかかわり方があきらかになるようにすること。また、水平力が作用しない通常運転時に対する設計を本指針に記述する必要がないのか検討のこと。

資料 No.3-9 コメント のサポートの自由位置方式については、評価ケースが一般化される様に再検討すること。例えば自由位置方式が適用できる条件を絞り、特殊なケースのものは個別に評価することを明記しておけばよいのではないか。

(4) 建物・構築物検討会委員名簿の紹介

資料 No.3-5 に基づき、事務局より本検討会の名簿が紹介された。

- ・ 新任：北田委員(NUPEC)
- ・ 変更：村上委員(退任) 山田委員(新任)(関西電力)...次回の耐震設計分科会に諮る。

(5) 原子力規格委員会 規約変更他の報告

資料 No.3-6,7,8 に基づき、事務局より以下の項目について報告が行われた。

- a. 原子力規格委員会の規約改定
- b. 原子力規格委員会の審議のあり方
- c. 原子力規格委員会の表彰制度の導入

(6) その他

次回は、9月29日(月)午前に開催する予定。

以 上